



刈り取った水草を力いっぱい引き上げ

委員会と市教委では2015年度以降、一部の年を除いて水草の除伐に取り組み、年間1ト以上を刈り取るなど、マリモと水草が共存できるシステムの確立を模索している。

刈り取り後の水草は自然に返すままにしていたが、家畜の飼料などに使用されていた例もあり、「エゾシカの餌として活用できないか」という案が浮上。同プロジェクトでは、エゾシカ

この日の作業には、同校の3年生10人、4年生9人が参加。4年生が3班に分かれてボートに乗り込み、岸から約200メートル離れた群生地を除伐作業に挑戦した。先端が二股になっている約5メートルの長竿を駆使し、水草をねじ切って力一杯ボート上に引き上げた後、3年生が湖岸に並べて乾燥させた。

この日はマツモやセンニンモなど合計107・7キ

認定こども園 保育園で給食

地元食材のおいしさを味わってもらいたいと釧路市は公立保育園と認定こども園など23園を対象に「地産地消の日」の取り組みを実施している。27日には釧路市桜ヶ岡保育園（叶田祥子園長）の園児50人が給食でイワシトマト缶のキッシュを味わった。

地産地消の日の事業は今年で3年目。今回はマルハニチロ北日本から寄贈された「イワシ味付けサーディン缶」を使い、パプリカやジャガイモなどの野菜、卵液を加えて、パイ風に焼き上げたキッシュに仕上げた。子供たちは給食に登場したイワシ料理を食べて「おいしい」と笑顔を見せていた。

釧路市こども保健部の管理栄養士の佐々木千優さんは「イワシは体に良い栄養

境の差が大きい」、釧路市小中学校校長会の秋保和久会長は「教員のICT教育の充実も課題」と指摘。釧路市教育委員会の岡部義孝

ICT授業を視察

道議会文教委 釧路管内19年ぶり

道議会文教委員会（笠井龍司委員長）は27日、釧路管内の教育施設の視察と意見交換会を開いた。同委員会による釧路管内視察は19年ぶり。

今回の視察の目的の一つは、ICT（情報通信技術）を教育に活用する「GIGA Aスクール構想」やコロナ

禍におけるオンライン授業。この日訪問した道教育大附属釧路中学校では、クラスを生徒全員がタブレット端末のiPadを1人1台使い、技術と美術を融合した新しい授業などに取り組む様子を視察した。26日には石狩管内の道立有朋高校と、教員の研修機関であ

る道立教育研究所を訪れ、28日には武修館中学校と白糠町立庶路学園でもICT活用について視察する。笠井委員長は「設置者の異なる学校でのICT活用を視察するのが目的」と話した。視察は、プラネタリウムをリニューアルした釧路市こども遊学館のほか、釧

路市中央図書館でも行った。



意見交換会では、釧路管内の教育関係団体が現状を報告。北海道高等学校長協会釧路支部の遠藤孝一支部長は「通信環境の整備は進んでいるが、家庭の端末環境を整備する委

道教育大附属中c iPadを使った授業を視察する委員

教育長は「釧路市では児童センターや社会教育施設に2日から23日までWiFi i（ワイファイ）を整備し、そこに行けば学習できる環境をつくりたい」と話した。また、岡部教育長は「ICTが教員の働き方改革にもつながる」との見方も示した。

（荒井純）



オヤジギャグみただけだと
言われて素直にうれしい言葉。

スダにだす。



レイアウト

素がいつば